

# 出合い

第5号

発行：大念寺  
小矢部市中央町1-34  
TEL0766(67)1260

## 「施餓鬼(せがき)」とは？

### 布施の大切さを知る機会

「施餓鬼」という言葉を聞かれたことはありませんか？浄土真宗を除いた全国のお寺では、特にお盆の時期に法要やお檀家回りなどで行われている行事です。

当山では、先代中川誘進師の時代、お盆の間墓地で勤められていたようですが、昭和三十年代には既に勤められなくなっておりまして。唯一、砺波市東中地区では、家の当主が亡くなられた際に、満中陰法要(四十九日)の中で施



「餓鬼」

餓鬼が勤められておりまして、これも平成以降勤められておりません。

浄土宗の大切な行事でありながら、お寺としてこれを勤めてこなかったことに住職として責任を感じております。ただ、お盆の行事として八月十三日から十六日までの四日間、墓地のすべてのお墓やお地蔵堂にお灯明を灯し、お墓の前で読経ご供養を続けさせていたしております。

「餓鬼」とは、仏教の教えでは「六道」のひとつ「餓鬼道」に生まれたものこと、常に飢えや渇きに苦しんでいるとされます。この餓鬼に飲食物を供物として施し供養することが『施餓鬼』です。この供養を行った人は善行を積んだことになり、その功徳を浄土にいらっしやる亡

くなつた方に振り向けることができるのです。

お釈迦様は「善行をすれば善い結果が生まれる」と説かれております。自分のものを他人に分け与えるという「施し」

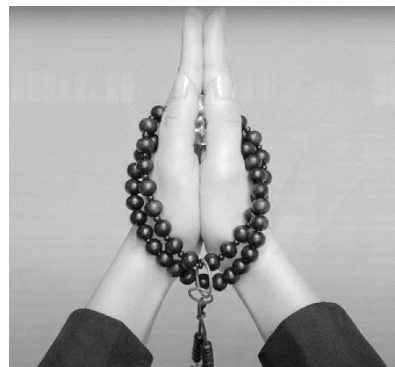
「布施」は、正にその善行の一つです。「布施」

「僧侶への謝礼」ともらえることが一般的ですが、「自分の大切なものを提供する」というのが本来の意味です。自己の所有や利益にとらわれず、他者に分け与え、他者の利益や幸福を願うことは、自己の成長につながります。

「お盆」は、亡くなられた親戚・縁者を偲んで、直接供養するのに対し、「施餓鬼」は餓鬼に対して施しを行う(すべての生命を想い供養すること)ことで得られた功徳をもつて間接的にご先祖を供養することになります。「施餓鬼」は、時期を選びませんが、お盆に限らず、特に「施餓鬼」と題したお参りでなくとも、餓鬼へ施すという「布施」の気持を大事にしてまいりたいと思います。

## 浄土宗の仏事について②

### 「数珠」のかけ方



数珠は心を整えるための仏具の一つです。あらゆる物事において「場」を整えないと良い結果が得られないように、数珠も正しく掛けて、お参りの「場」を整えることが大切です。



浄土宗公式チャンネル動画説明



### 墓地の清掃に関して



本年度の墓地草刈り・清掃は、合同での実施はいたしません。皆様のご都合に合わせて行っていただきますようお願いいたします。

# 奇しき因縁の 阿弥陀如来像 (お内仏)

## (お内仏)

### 大念寺の③ 仏さま紹介 (特別編)

内仏(念持仏)とは寺の住職が自身の傍らに常に置き礼拝の対象としている仏様です。大念寺では住職の居室に鎮座しております。この仏様には実に興味深いストーリーがあります。

元々は江戸時代中期の高僧・貞極上人が江戸・小石川の伝通院で学び、根岸の四休庵で念仏道場を開かれ、厳しい戒律を守る生活を送られた際の念持仏だったそうです。貞極上人は宝暦六年に亡くなりますが、その後四休庵は学寮となり、明治維新前後、伝通院内に移築されたそうです。その時、伝通院の役者で

寮主を務めたのが、大念寺第二十三世十誉念教上人の弟子である長嶋念徹という方でした。この学寮は無檀無縁であつて、運営が立ち行かなくなり廃せざるを得なくなりました。念徹は法弟である大念寺第二十五世香月猛誉上人のもとに持参、猛誉上人がこの仏様を内仏としたのが明治十年のことです。

貞極上人は学者でいくつもの著作があり、没後それらを全集にまとめようとされた立言行誠上人が、全集に収めようと念持仏の行方を探すも存命中に発見できませんでした。その後、大念寺第二十六



「四休庵貞極全集下巻」に掲載されている大念寺のお内仏。掲載写真より。

世でもある、野澤俊岡上人が伝通院の貫主の時、編者の九州福岡・西極楽寺の徳永徹識上人に念持仏の所在が伝わり、「四休庵貞極全集」のために撮影、昭和六年発行されました。明治十年から大

正、昭和と半世紀以上を経て完成を見た全集には因縁めいたものを感じます。大きくありませんが立派な仏様で、そのお顔は慈愛に満ち、有難いこと極まりないのです。



四休庵貞極全集 (上・中・下巻)

## 浄土宗新聞7月号に「おてらマイク」が紹介されました

浄土宗宗務庁が毎月発行する「浄土宗新聞」の7月号に「てらかつ」の一つとして4月から開催している「おてらマイク」が紹介されました。第2回目のイベント当日、はるばる東京から浄土宗社会部の方が取材に来られました。このコーナーは毎号全国の寺院の取り組みを紹介しているところです。



### 「てらかつ」のご案内

行事名	開催日時	参加費など
おてら de 気功	毎月第1土曜日 10:00~11:00	参加費: 500円
写経会	毎月第3土曜日 10:00~12:00	参加費: 500円 ※写経奉納料込
おべつじ (別時念仏)	奇数月第2土曜日 19:00~20:00	参加費: 無料
おてらマイク	偶数月第2土曜日 14:00~17:00頃	参加費: お供え(500円程度) 観覧料: 無料

昨年五月に「出会い」創刊号を発行してから、約一年余りが経過しました。何とかネタに困ることもなく四号までこぎつけました。が、やはり一回りすると詰まってきます。たった四回で。スタートしたからには、やりぬく覚悟で臨んでいます(大袈裟ですが)。どうぞ皆さんからのご要望や、投稿などお寄せください。継続は力なりです。ペーisは落ちても発行を続けていきます。

【副住職】

編集後記